

11/12(土)
14時～

日本共産党演説会

大津市民会館

3位当選！無党派層支持1位
参議院選挙 東京選挙区で
山添拓 参議院議員 来県

物価高騰で生活が大変な時に 公共施設の値上げ、十二坊温泉の使用料の値上げが 9月議会で提案。日本共産党議員団は反対しました！

公共料金使用料値上げ
反対討論
松井けい子議員
途中抜粋

公の施設は、自治法 244 条によって、普通地方公共団体は、住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設を設けるものとする。第 2 項では、普通地方公共団体は、正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない。第 3 項では、普通地方公共団体は、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別的取り扱いをしてはならない。と定められています。市民の税金で市民が利用するために建てられた施設であり、市民の誰もが自由に使う権利を持っています。自治体は、誰もが利用しやすい施設にするために、改善をする必要はありますが、値上げをして利用者が減ってしまえば、公の施設が果たすべき住民の福祉増進という目的から大きく後退することになります。

9 月議会の総務常任委員会に出された資料をみますと、現在、納入された使用料が維持管理に占める割合は、13.8%で税負担は 86.2%であります。指針に基づく施設使用料を今後、定期的に見直し値上げをしていき、納入使用料を 76.9%まで引き上げ、税負担分を 23.1%まで削減していくとあります。何故、そこまで、使用料で賄おうとするのでしょうか。また、同種の施設や稼働率の低い施設の統廃合は積極的に行うことも明記されています。これは、自治法 244 条の目的から大きく後退することばかりです。

6 月議会の一般質問でも文化ホールの土日祝日と平日の差別化を申し上げましたが、それは、現行の料金を土日祝日の料金設定で、空きが多い平日を低料金に下げて、平日の稼働率を上げるべきだと提案していたのです。結局、値上げを行い、利用し辛くし、稼働率を下げて統廃合をしていこうと考えておられるのでしょうか。

具体例として石部文化ホール土日祝の午前中 19,400 円が 28,300 円、8,900 円の値上げ、全日、63,050 円が 92,050 円に、29,000 円の値上げ、甲西文化ホール土日祝日午前中、20,400 円が 29,750 円、9,350 円の値上げ、全日、66,300 円が 96,750 円、30,450 円の値上げです。草津のアミカホールでは、土日祝の午前の値段は 18,500 円です。甲西文化ホールの土日祝の午前と比べると 11,250 円も草津のアミカホールの方が低料金です。アミカホールも以前、使用料の見直しをされましたが、土日祝の午前の値上げは 500 円でした。石部文化ホール 8,900 円、甲西文化ホール 9,350 円の値上げがいかに大きいか分かって頂けると思います。

また市民の方々がよく利用されるサンライフ甲西の大ホール 1 時間 900 円が 1,350 円に 450 円の値上げ、3 時間 2,700 円で借りられたのが、4,050 円となり、1,350 円も負担が増えることとなります。今まで 3 時間使用できた金額で 2 時間しか借りられなくなります。そして、各まちづくりセンターの大ホールも 1 時間 800 円から 1,200 円になるので、3 時間で 2,400 円が 2 時間で 2,400 円になります。大きな負担になることが分かります。

先ほど申し上げました自治法 244 条の目的に示されているように、公共施設の利用は、地域づくりや健康増進につながり、文化・スポーツ・レクリエーション・趣味・講演会・学習会など、市民の方々の生きがいにもつながっていき、生き生きと活動されることは、何よりもコミュニケーションの場であり、地域や市民全体の受益になると考えられます。

お隣の甲賀市でも公共施設の使用料の見直しが検討されていますが、コロナ禍や物価高騰などの社会情勢などから、見直しをするのは一部の施設だけだと聞いております。

コロナ禍で分断された人と人の繋がりが戻りつつある中、食料品をはじめ、生活用品全般の物価高騰で市民生活は、ますます厳しくなっています。今回の値上げは、このような情勢の下で、市民負担を増やすこととなります。公の施設が果たすべき住民の福祉増進という目的からも大きく後退することとなるため、値上げは行うべきではないと申し上げ、反対討論と致します。

< 議案の賛否 >

議案名	件名	日本共産党 湖南市議員団		会派チーム 湖南			令和会			みらい の風		湖南市 公明党 議員団		湖南 WAKU プロジェクト		無 会 派	無 会 派	
		松 井 圭 子	川 波 忠 臣	松 原 榮 樹	加 藤 貞 一 郎	永 田 誠 治	大 島 正 秀	上 野 顯 介	藤 川 み ゆ き	望 月 卓	奥 村 幹 郎	細 川 ゆ かり	副 田 悦 子	中 土 翔 太	柴 田 栄 一	森 淳	赤 祖 父 裕 美	
議案 第39号	湖南市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について(公共施設の値上げ)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案 第43号	湖南市湖國十二坊の森条例の一部を改正する条例の制定について(使用料の値上げ)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

値上げに賛成多数で可決

湖南民報

2022年9月30日(金)
No. 502号
日本共産党湖南市議員団



福祉・教育
常任委員会
松井けい子
0748-77-2049



産業・経済
常任委員会
川波 忠臣

湖南民報は
「赤旗」に
折りこんで
います。

090-9691-1027

050-3554-3822

「国葬反対！」北海道から沖縄まで全国各地で声があがる中、岸田内閣は 27 日、安倍晋三元首相の「国葬」を強行しました。午後 2 時に東京都千代田区の日本武道館で「国葬」が始まると同時に、国会前では市民が大行動をスタート。滋賀県でも午後 2 時から、大津と草津で国葬強行に抗議する市民集会が行われました。各政党、各団体からアピールがありました。法的根拠もない、憲法違反の「国葬」。安倍政治を美化し、政治利用しています。国会軽視、国民無視、民主主義の破壊です。